

10月 電気ガス代上昇

政府の価格抑制補助縮小

大手電力十社が三十日発表した十月の家庭向け電気料金は、全社とも九月と比べ上昇した。大手都市ガス四社のガス料金も全て値上がり。政府が物価高対策として実施している電気・ガス代への補助が半減することを反映させた。火力発電の燃料となる石炭などの資源価格は下落傾向だが、補助の縮小分が上回った。標準家庭の電気料金の上昇幅は沖縄が千二十四円で最も大きかった。関西九百十円、九州八百七十五円、中部七百八十二円、東京七百七十七円、四国七百四十八円、東北七百四十一円、中国六百八十四円、北海道六百七十四円、北陸六百四十二円と続いた。

ガス料金は東邦ガスが四百二十円、東京ガスが四百八円、大阪ガスが四百六円、西部ガスが三百十円、

※標準家庭1カ月当たり。上昇幅は9月比。政府が物価高対策として実施する料金抑制分を反映済み

10月の電気・ガス料金

会社名	料金(円)	上昇幅(円)
電力 ⚡		
北海道	8,373	674
東北	7,641	741
関東	7,573	777
中部	7,181	782
四国	6,763	642
中国	6,146	910
北陸	7,434	684
北海道	7,425	748
九州	6,126	875
沖縄	8,204	1,024
ガス ⚙		
東邦	5,343	408
京邦	6,498	420
大阪	5,892	406
西	6,181	310

それぞれ上昇する。
政府の補助は九月検針(八月使用)分まで、電気は使用量二割時当たり七円、ガスは一立方尺当たり三十円を値下げしてきた。十月はこの半分となり、終了する予定だったが、家計の負担を軽減するため、終了せず延長する方針だ。